



第12号
令和2年
1月8日発行

志高く

自ら考え 学び続ける生徒
心豊かで 思いやりのある生徒
体を鍛え やり抜く生徒

自分でやってみて伸びを確かめる3学期に！

— やってみる・言ってみる・書いてみる → 再現できる・説明できる力にする —

石川 浩

明けましておめでとうございます。令和になって初めてのお正月を迎えました。今年の干支は『庚子—かのえ・ね—』で、始まりの意味を持つ「子」と力強さをイメージする「庚」が合わさり「大きな変化が生じる年」と考えられ、「過去の成果から引き継ぐべきものを維持しつつ新たな環境や局面に向けて体制を整えていく」とよい年とされています。今日から始まる3学期は、昨年度創立40周年の節目を越えた深谷中学校にとっては50周年に向けて新たなスタートをきった年度のまとめを、生徒たちにとっては今の学年、特に3年生にとっては深中生としてのまとめをする、大切な期間です。是非、「過去の成果から引き継ぐべきものを維持しつつ、新たな環境や局面に向けて体制を整えていく」庚子の年らしい1年にしてほしいと思っています。



3学期
自分でやってみて
伸びを確認する

2学期
善進に向け 本気・全力で 挑戦する

1学期
深中生としての 構えと形をつくる

温故創新
～令和の挑戦～

さて、本年度も学期ごとに重点を定め、教職員と生徒たちが意識して学校生活を進めています。1学期は「深中生としての構えと形をつくる」、2学期は「善進に向け本気・全力で挑戦する」を重点に取り組み、それぞれの学年の深中生に求められる構えと形を身に付け、三大大行事や部活動、研究発表会等での本気・全力の挑戦を通して深中の新たな歴史をしっかりと刻んできました。その上で、3学期は「自分でやってみて伸びを確認する」ことを重点とした取り組みを進めます。みんなで協力してできたことやできたと思っていたことが、本当に自分の力でできるようになっているのか、どのくらいできるようになっているのかを確かめ、できないことがあったら、進級・進学する前にできるようにしておきたいです。また、素晴らしい成果を、その時だけでなく様々な場面で活用できる能力として身に付けたり共有したりするためには、しっかりと振り返り **自分の伸びを確認しておく**ことが大切です。確認するためには、頭でわかったことを、自分でやってみたり言ってみたり書いてみたりして、わかったということ、目に見えたり耳で聞けたりできるように【見える化】することが大切です。3学期は、「わかる」など頭の中の見えない思考を、やってみる・言ってみる・書いてみる、という **見える化する小さな挑戦**を意識して行い伸びを確認しましょう。

昨年創刊75周年を迎えた埼玉新聞で「温故**創新**—故きを温ねて新しきを創る—」という言葉を目にしハッとしました。よく知られた故事成語「温故**知**新」の先にあるゴールに向かう学び方だと感じたからです。今年日本で初めてスマホの持ち込みを許可する私立中学校入試が話題になっています。例題として「日本中にアンパンマンのぬいぐるみは何個あると思いますか。資料にあたり、皆さんの考えを言葉と式を使って表してください。」という算数の問題が示されています。この問題にはこれしかないという答えはありません。問われているのは、なぜそういう結論を出したのかという自分の答えを導き出した道筋・考え方です。知識の量や細かさはAIが担っていく社会を生き抜く人材には、情報をどう得て・どう選び・どう活用するか、そのためにどう学ぶかという【自己調整学習能力】が求められるという考えに基づいた出題です。ただし自己調整学習能力の基盤として知識も必要です。「温故**創新**」というこれまで身に付けてきた学力を振り返り、「知る」だけにとどまらない、真に必要とされる学力に磨き上げる「確認」をする3学期にしていきたいと思います。

新年の抱負、3学期への決意

令和2年1月8日の3学期始業式では、各学年の代表者から、新年の抱負として、新学期への目標や決意が力強く述べられました。その一部をお知らせします。

3学期の抱負

1年生代表 1年4組 植竹 匠人 さん

慣れないことばかりの1学期を乗り越え、2学期はとても充実した日々を過ごすことができました。仲間と協力し「心をひとつに」全員が全力で頑張りました。

今までに育てた団結力を生かす3学期にするために二つの目標を立てました。一つ目は、「自治力」を高めることです。先生方に言われて動くのではなく、自分たちで考え、より善くしていきたいのです。スキー教室では三大大行事で育てた団結力や協力性をしっかり発揮して本気で取り組み、一人一人が主役となれるスキー教室にしたいです。二つ目は「当たり前」のことにしっかりとやることです。当たり前のルールやマナーを守れないと、自分ばかりか周りにも迷惑をかけてしまいます。一人一人が自分自身を振り返り、当たり前のことが当たり前に行える3学期にしていきたいです。まずは自分がしっかりとやります。そして間違っている人がいたら誰でも声をかける学年にしたいです。

3学期は1年間のまとめの学期です。学年が一丸となって互いに高め合い、2年生になった時には全員が自治力を身に付け、後輩のお手本となれる学年を創ります。



3学期に向けて

2年生代表 2年4組 木村 一輝 さん

僕は2学期に、一人一人が自主的・積極的に取り組んで創った青学年の団結力を改めて感じました。3学期は、さらに自主性と積極性を発揮して特に次の三つのことに取り組んでいきたいです。一つ目は「志高の会」です。2学期の社会体験チャレンジで、働く大人の方々に仕事のやり甲斐や楽しさを体験を通して学ばせてもらいました。今度は、学んだことを将来にどう生かすかを考え、言葉にして他の人たちに伝える番です。伝えるために振り返ることにも、他の人の体験や学んだことを聞くことにも、積極的に取り組みたいです。二つ目は2年生が中心となって3年生への感謝を伝える「三送会」です。3年生の気持ちになってどう伝えるのがよいか、一人一人が考え工夫することが何よりも大切です。自分以外の人のためにも自主的に取り組める学年になっていきます。三つ目は学習への意欲向上です。僕たちは3ヶ月後には3年生です。本格的に受験勉強を始めている人はほとんどいませんが、いつまでも「まだ大丈夫」という気持ちでは、いつのまにか入試を迎えてしまいます。3年生になってからではなく3学期から、誰かに言われたからではなく自分の意志で始めたいです。

自分で考えて行動していけば成果が現れ、最上級生になる心構えももてます。残り3ヶ月、青学年全員で最上級生になる土台を完璧に創り上げていきます。



やり切る3学期に

3年生代表 3年4組 条原 天翔 さん

今日からいよいよ3学期が始まります。自分の進路に向け本気で勉強に取り組んだ冬休みを終えて迎えた今学期、3年生は「受験」という大きな勝負を控えています。志望校に合格できるか不安です。でもそれは、「受験」を個人戦だと考えているからではないでしょうか。

緑学年はこれまでたくさんの行事で様々なことを学んできました。修学旅行では、先を見て行動することや仲間と協力することの大切さを学びました。深中三大大行事では、あきらめないことや様々な人たちに支えられていることを学びました。積み上げてきたこれらのものを無駄にせず活かしていきたいです。私立入試まであと15日、公立入試までは52日となりました。緑学年が一つになり、限られた時間の中で悔いを残さないように勉強し、団体戦で合格を勝ち取れるようにしたいです。

深谷中学校で緑学年の仲間と過ごす最後の学期です。「受験」を理由に学校生活をおろそかにしたくはありません。このまとめの学期も、ぼくたちには3ヶ月弱しか残されていません。その中でぼくたちがなすべきことは、緑学年が一つにまとまり、普段の学校生活を通して、後輩たちに深谷中学校の伝統をぼくたちらしく磨き上げて渡していくことだと思います。残り少ない時間の中で、勉強に集中しながらも、学校生活では後輩の手本となり、笑顔で卒業できるようにしていきます。

